

# YACかわら版 612



生浦湾のカキ筏

カムチャッカ地震津波

鳥羽市生浦湾



②



③

<https://www.msil.go.jp/msil/htm/main.html?Lang=0>

鳥羽市では第1波到着予測時刻11:30には津波識別不能でしたが、7月30日23:27に40センチの津波を観測しています。

センチネル2 Aは、7月30日10:47に鳥羽市周辺を観測しました。鳥羽市の生浦湾(おうのうらわん)は浦村(うらむら)カキで有名です。浦村はリアス式海岸で有名な志摩半島の東にある港です。黒潮とおだやかな入り江に恵まれカキの養殖が盛んです。7月30日のトゥルーカラ画像でみたところその影響はないようでした。

②③

ところが年7月31日「『朝起きたら、ぐちゃぐちゃ』津波でカキ養殖のいかだ372台流される 三重県鳥羽市浦村町」と中日新聞は報道しました。

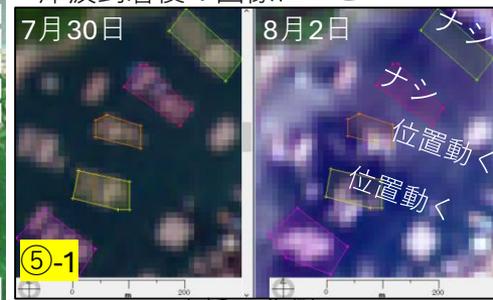
⑥

<https://www.chunichi.co.jp/article/1108628>



④

津波到着前のイカダ位置を、津波到着後の画像にコピー



⑤-1

大橋の北側

巨大地震に伴う津波で、三重県鳥羽市浦村町の海上でカキ養殖用のいかだ372台が流された。地元の鳥羽磯部漁業協同組合浦村支所などによると、いかだのロープが切れて最大で数百メートルほど流され、湾曲したり、ロープが絡まったりして、一部が破損(はそん)した。

以下略

生浦湾には約2000台のイカダが設置されていました。イカダの大きさは7.2×5.4mです。5台を連れ、数カ所に約60kgの重りを付けて水深約10mの深さの海底に固定していました。

8月2日センチネル2 Bが、鳥羽周辺を観測しました。④津波到着前後のイカダの位置を確認するために、コペルニクスブラウザからデータをダウンロードし、衛星データ分析ソフトEISEIで筏の位置の移動を確認しました。

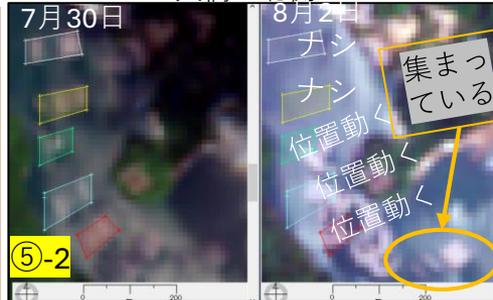
津波到着前のイカダ位置をマーク(多角形で囲む)し津波後の画像に「マーク」をコピーしました。⑤-1⑤-2

中日新聞の鮮明な写真のイメージで、イカダの移動が把握できるようです。



⑥

写真説明：津波で流されて壊れた養殖イカダ=31日午後、三重県鳥羽市浦村町で、本社へリ「まなづる」から(小沢徹撮影)



⑤-2

大橋の南側

センチネル2の空間分解能は10mです。イカダは余り鮮明には把握

できませんが、津波による潮流の強さを実感できます。水産関係の津波の被害は各地で報告されています。一日もはやい復旧と復興を祈念するばかりです。